

ドローンによる三峰山頂・大日不動明王参拝

—デジタルアーカイブでのドローンの基本的な活用—

安藤久夫、進藤広司、川嶋繫勝、
栗本孝平、片桐奈央子、細川季穂（岐阜女子大学ドローンカレッジ）

1 三峰山不動明王

岐阜女子大学（以下大学と略記）の北に聳える三峰山（216m）の頂上には大日不動明王が祀られている。大学から仰ぐと微かに青色の幟らしきものが見えることがある。（図-1）

昭和初期まではこのあたりで白装束を身に纏った山伏姿の人に出会うことがよくあったという。地元では昔からこの地を「お不動さん」と呼んで親しまれてきた。

大学正門から南に約500mの街道沿いに古い道標が今も遺って往時が偲ばれる。（図-2） 登山口は草木に覆われ標識がなければ見落とす。（図-3）



図-1 岐阜女子大学正門付近から望む三峰山



南面 西面
図-2 街道に遺る道標



図-3 登山口



石碑 建造物
図-4 大きな石の石碑と建造物

参道（登山道）を登ると大きな石碑や建造物に出会う。
（図-4）　ここまで石材を運ぶのは容易でないが、これも信仰のなせる業か。
登山口から約1時間で山頂に到達する。そこに不動明王を祀った祠がある。（図-5）



図-5 大日不動明王の祠

2 ドローンによる不動明王周辺撮影と記録

この場所を利用して岐阜女子大学ドローンカレッジ講習会の項目であるFPVを実施した。

(1) 飛行環境

岐阜女子大学駐車場を離陸し、三峰山頂の不動明王を目指して飛行させ、不動明王を撮影して帰還する。（図-6）　片道の飛行距離はほぼ640m、高度差は約204mである。山に沿って飛行させるので航空法に準じた飛行である。



図-6 岐阜女子大学と大日不動明王の位置関係

(2) 飛行結果

図-7 は山頂上空から不動明王を撮影したものであるが、更にもっと近付いて撮影することに挑戦している。　図-8 は上空から岐阜女子大学全景を撮影したものである。右側が離着陸地点の駐車場であり、この駐車場の奥が1992年放送のNHK大河ドラマ「信長」に合わせて建設されたオープンセットの跡地である。ここに巨大な堀、三つの城門、主殿を備えた「幻の戦国空間」があったと岐阜新聞（2021. 1. 3）にも紹介されている。



図-7 大日不動明王の祠



図-8 岐阜女子大学全景